

【地域の概要】

- 久田見地区は八百津町の東部に位置する、標高500m前後の地帯である。118haの耕地面積があり、人・農地プランには6つの中心経営体が位置付けられているが、撤退や縮小傾向にある。
- 和知地区は八百津町の西部に位置し、町内でも比較的平坦な水田地帯が広がっているエリアで、木曽川右岸用水土地改良区の受益地でもある。197haの耕地面積があり、17の中心経営体が位置付けられているが、こちらも経営規模は縮小傾向が強い。

①取組開始前の状況や課題

○今年度、認定新規就農者がより良い米づくりの圃場を探しており、地元農業委員が相談に乗った。

○意向を踏まえた圃場探しが必要。

久田見地区：有機野菜
和知地区：水稻

○遊休化している農地の復旧方法や、農業用機械の取り扱いについて学ぶ必要がある。

②取組内容

委員による農地調整（令和5年秋頃～）

○和知地区（和知、野上等）を拠点とする農業委員が自身が借りている圃場近くの田を斡旋。農業委員の紹介により話がスムーズにまとまり、令和6年度中に7筆92aの利用権設定を予定。

新規就農者へのサポート

○農業委員は大型機械を保有し、農地の復旧方法や農業用機械の取り扱いに精通していたため、新規就農者がその技術を学ぶことができた。また、委員の圃場の隣接地を斡旋したことで、共同で作業することが可能。



圃場

③今後の展開と方向性

- 事業拡大の意欲があるため、今後継続して集約していく。
- 利用したい農地が遊休化している場合でも、遊休農地解消緊急対策事業を活用し、大型機械を持つ農業委員が農地の復旧作業を行えるため、費用負担を軽減でき、集約・集積がしやすい。